

日銀所長の あさひかわ楽

16

仕事柄、当地の企業経営者と意見交換をする機会が多くあります。その中でも、今回は、これからの当地経済を担っていく若手経営者にスポットを当てて語りたいと思います。

赴任して間もなく、「木曜塾」という若手経営者の会に入らせていただきました。歴史は古く、三十年来統一している勉強会だそうです。昔は、毎月第三木曜日に例会を開いて

旭川の若手企業経営者たち

いたようですが、世代も代わり、現在では三カ月一回程度の頻度で行っています。原則として一業種一名限定で、率直に物が言えて、お互い切磋琢磨し、自分を鍛える場として活用するというのが目的だそうです。この中で私の役割は、地元旭川以外の観点から、経済の動向や経営を巡る環境の変化について語り、メンバーにとって何らかのヒントにしたいと考えています。

現在、塾頭としてこの会を強力なリーダーシップで率いているのがガチガチの虎キチO社長です。メンバーは皆、それぞれの本業を本当に一生懸命頑張っておられます。多くは二代目、三代目の方ですが、過去の成功体験や固定観

念に縛られずに、自由な発想で新たな付加価値を創造できる強みがあると思っています。近年、厳しい経営環境の中で、守りに徹してきた企業も多かったと思いますが、今こそ、しっかりと守りに支えられた、攻めの経営を發揮していただきたいと思っています。

また、この六月からは「大雪経営塾(仮称)」が立ち上がります。三十代から四十代の、木曜塾より更に若い世代の経営者によるバリバリ硬派な経営勉強会だそうです。年六回集まり、課題とする経営書を全員が事前に読破しておき、例会担当が問題提起をしたあとディスカッションをするそうです。我々転勤族からも刺激を受けたいと、経営勉強会

とは別に年四回はオーブンセミナー(転勤族の話を聞く会)を開き、交流の場を設けるということなんです。代表のK社長をはじめ、このメンバーの多くは一から起業した人たちです。経営も塾もこれから軌道に乗せていくということですが、一歩前に出る勇気と行動力を評価したいと思います。

さて、そもそも企業とは、ビジョンを持ち、リスクを取って投資し、イノベーション(進化、革新、刷新)を図るように運命付けられた組織とすることができると思っています。

旭川の若手経営者よ、奮い立て！私としては心底応援していますし、出来る限りの協力は惜しまないつもりです。

(日本銀行旭川事務所長 ※毎月第一週に掲載します)

す。新たな付加価値を生み出すために、すなわち新たな需要を掴み取るために、様々な新しい取り組みを不断に行う組織ということなんです。グローバルな観点から、潜在的なニーズを掘り起こし、現実のニーズに変えていくことが、今ほど求められている時はありません。

尾家啓之(おいえひろゆき) 一九五八年昭和三十三年東京都生まれ。八一年(同五十八年)日本銀行に入行。米岡シンクトンでの勤務や、橋本内閣の行政改革会議事務局への出向、総務人事企画役などを経て、〇七年(平成十九年)から旭川事務所長。趣味は音楽全般、ミュージカル鑑賞、社交ダンス。